公益社団法人 ひょうご被害者支援センター　2020年６月　第34号

News Letter

Vol. 34

朝来市白井大町藤公園

CONTENTS

◆2019年度の活動 P.2
◆ご挨拶 P.3
◆ひょうご被害者支援センターの概要 P.3
◆2019年度 支援活動 P.4
◆人材育成 P.5
◆広報・啓発活動 P.6
◆命の大切さを学ぶ授業　活動報告 P.7
◆コラム・私の趣味・ミュウとの思い出 P.8·9
◆SDGsへの取り組み P.9
◆ファンドレイジング P.10·11
◆賛助・寄付ご芳名 P.12·13
◆感謝 P.14
◆財務報告 P.15
◆身近にできる社会貢献活動 P.16
◆編集後記 P.16

ひょうご被害者　検索

2019年度（2019年4月1日から2020年3月31日）の活動

支援活動

相談 1,133 件　（電話相談 744 件）（面接相談 389 件）
付添い支援 201 件　　裁判の代理傍聴 68 件
自助グループ（六甲友の会）支援 7 件

電話相談ルーム

神戸地方裁判所

面接ルーム

人材育成

電話相談員養成講座 6 日間
電話相談員継続研修 12 回
直接支援ミーティング 12 回

電話相談員養成講座

広報・啓発活動

シンポジウム参加者 130 名
ビラ配り 134 ヶ所
命の大切さを学ぶ授業 14 回
ファンドレイジング

ビラ配り

シンポジウム

研修開催・講師派遣等

カウンセリング講習 1 回
市町職員研修 1 回
質の向上研修 2 日間
講師派遣 36 回
外部機関研修への参加 18 回
グリーフケア講座（神戸市主催）1 回

カウンセリング講習

運　営

理　事　会 5 回
広報委員会 4 回
財務委員会 5 回

財務委員会

理事会

ご　挨　拶

ひょうご被害者支援センター　理事長　**井　関　勇　司**

～すべては被害者のために～

みなさまからのご支援、ご協力により、2019年度は多くの支援活動、人材育成、広報・啓発活動を行うことができましたことに厚く感謝申し上げます。

この数年、限られた人材で支援活動を続けてまいりましたが、３年を超える研修期間を経て、４月には４名の犯罪被害相談員が誕生いたしました。

広報活動では、ＷＥＢの活用、ニュースレターの内容充実を図りました。ファンドレイジング活動では、財務委員会の活発化や「金券de支援」の立ち上げ等成果がみられますが、まだまだ財務基盤は脆弱で、さらに努力する必要があります。

2020年度は、世界的にもさまざまな混乱が生じています。混乱の時期にこそ、人や組織の真の姿が見えてくるものです。創造性を発揮し、日々全力を尽くし、また、関係機関との連携を一層強化し、成し遂げるべきことに向かって活動して参ります。

今後とも、みなさま方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

ひょうご被害者支援センター　事務局長　**遠　藤　えりな**

この１年間、次々とやってくるいろいろな行事に取り組むことで精いっぱいだったのが正直なところです。たくさんの方々にお世話になりました。ありがとうございました。

2022年にはセンターの設立20年となります。節目の年を無事に迎えることが出来るためにこの１年が大切だと思っています。新型コロナウイルスの感染拡大がいつまで続くのか、見通しが立たない不安はありますが、知恵を出し合い乗り切りたいと思います。

今年度も、ひょうご被害者支援センターの活動にご理解ご協力を賜ります様お願い申し上げます。

ひょうご被害者支援センターの概要

目　的

被害に関する相談及び被害者の心のケア等を支援するとともに社会全体が被害者を総合的にサポートできる環境づくりに寄与します。

歩　み

2002年1月　任意団体設立
2002年6月　NPO法人ひょうご被害者支援センター設立
2009年9月　兵庫県公安委員会より犯罪被害者等早期援助団体に指定
2014年4月　公益社団法人　ひょうご被害者支援センターとして活動
2017年4月　ワンストップ支援センター　ひょうご性被害ケアセンターよりそい開設

役職員

顧問３名　理事長１名　副理事長２名　理事11名　監事２名
事務局12名（常勤３名、非常勤９名、うち相談員兼務10名）
ボランティア相談員29名
正会員　137名　　（2020年4月1日現在）

2019年度　支　援　活　動

電話相談被害種別件数

＊一　般

種　別	件　数		
	2017年度	2018年度	2019年度
殺　人	16	7	3
強　盗	2	4	1
強制性交等	68	33	11
強制わいせつ	39	27	27
その他の性被害	35	18	15
暴行・傷害	86	106	67
交通事故	45	49	33
財産被害	13	14	28
D　V	31	34	17
ストーカー	21	41	6
虐　待	5	4	1
そ　の　他	296	288	195
合　計	657	625	404

＊性被害（よりそい）

種　別	件　数		
	2017年度	2018年度	2019年度
強制性交等	163	225	160
監護者性交等	—	—	4
強制わいせつ	39	48	70
監護者わいせつ	—	—	2
その他の性被害	4	60	48
D　V	3	6	5
ストーカー	3	19	10
虐　待	9	5	0
そ　の　他	45	63	41
合　計	266	426	340

総合計	923	1,051	744

支援内容別件数

＊一　般

付添い先	件　数		
	2017年度	2018年度	2019年度
警　察	2	5	5
裁判所	53	115	73
検察庁	25	33	16
行政窓口等	3	0	1
医療機関	16	11	0
弁護士事務所	27	29	13
法律相談（無料）	98	113	71
心理相談（無料）	2	1	0
代理傍聴	115	110	68
自助グループ支援	7	8	7
そ　の　他	1	2	3
合　計	349	427	257

＊性被害（よりそい）

付添い先	件　数		
	2017年度	2018年度	2019年度
警　察	1	0	0
医療機関	1	0	1
弁護士事務所	0	4	6
法律相談（無料）	7	5	12
心理相談（無料）	0	0	0
そ　の　他	0	0	0
合　計	9	9	19

総合計	358	436	276

面接相談種別件数

＊一　般

種　別		件　数		
		2017年度	2018年度	2019年度
法律相談（弁護士）		98	113	71
心理相談（臨床心理士）		72	189	142
犯罪被害相談員	初回	121	128	84
	継続	5	7	2
合　計		296	437	299

＊性被害（よりそい）

種　別		件　数		
		2017年度	2018年度	2019年度
法律相談（弁護士）		7	5	12
心理相談（臨床心理士）		18	45	63
犯罪被害相談員	初回	15	18	15
	継続	0	0	0
合　計		40	68	90

総合計	336	505	389

「ひょうご性被害ケアセンターよりそい」はワンストップ支援センターとして、性暴力被害に遭われた方を支援するために、兵庫県から業務委託を受けて公益社団法人「ひょうご被害者支援センター」が運営しています。

人　材　育　成

❖電話相談員養成講座

年に１度開講しているボランティア電話相談員の養成講座です。

受講生の声

私は、もうすぐ今の会社を65歳の満期退社となります。定年後、何をしたいのかと以前から考えておりました。よし、人に寄り添うボランティアをと。そのような時、通信教育で認定心理士の資格が取得できることを知りました。よし、その資格を取りボランティアに繋げようと60歳で入学を決めました。

さて、どんなボランティアを目指すのか考えていた折、被害者支援センター電話相談員募集の新聞記事に目が止まり、これだと即断し応募しました。

そして、相談員養成講座を終了し、電話相談員として1年前からスタートしました。電話を受けるたび、自分の無力さを実感しながら、少しでも相談者の力になれるように、日々精進を続ける必要性を実感しております。（T．H．）

❖電話相談員継続研修

電話相談員がより知識を身につけ、相談員としてステップアップするための研修です。

受講生の声

電話相談を受けるにあたり、法律や心理などの専門的な知識を深め、被害者の方々のお話をしっかり理解するために、月に1度継続研修が行われています。

各分野の先生方の講義、ご遺族の方のお話の他、実践のためのロールプレイなど、とても充実した内容ですが、すぐに自分のものにするのは難しく、学んだことや感じたことを生かすことは中々できません。それでも、他の相談員と交流できる唯一の場でもあり、お互いが相談員としての意識を高めていければと思っています。（Y．N．）

❖直接支援ミーティング

月に１度、その月に行った支援活動についての報告と検討の場であり、スーパーバイザーとして弁護士や臨床心理士の先生からのアドバイスを受けています。

参加者の声

毎月１回、犯罪被害相談員、直接支援員が集まり、その月に行った支援活動についての報告会をしています。

必ず弁護士、臨床心理士の先生方にも出席していただき、それぞれのケースについての詳しい解説やアドバイスを受けています。

被害者の方との関わりには、一つとして同じものはなく、直接支援ミーティングは、その時々にどのような支援が必要かを学ぶ大切な場だと思います。

まだまだわからないことの多い私ですので、法律や心理についての理解を深め、先生方から、少しでも多くの知識を吸収し、支援活動の充実につながればと願っています。

そして、センターの支援員が被害者の方に寄り添おうと、日々一生懸命努力し、奮闘している姿を目の当たりにすることが、私にとっての大きな収穫となっていることに間違いありません。

（H．K．）

❖犯罪被害相談員４名を認定

2020年４月に新たに犯罪被害相談員として４名を認定しました。４名は４年～６年、センターの活動に従事し、いずれも1800時間以上の支援員として経験を積み、その能力を認められた人物です。

これで、センターの犯罪被害相談員は８名となりました。

広報・啓発活動

犯罪被害はいついかなる時に遭遇するかわかりません。一人でも多くの方に私たちの活動を知っていただくために警察や関連団体と協働で広報・啓発活動をしています。

未解決事件の情報提供を求めて

イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンに参加

ひょうご被害者支援センター主催のシンポジウム

兵庫県公館での広報活動

暴力団追放兵庫県民大会における広報活動

神戸市主催のグリーフケア講座

ワンストップ支援センターとして「ひょうご性被害ケアセンターよりそい」の『先生用「保存版」シート』を、県下の小学校・特別支援学校（808校）に配布しました。

命の大切さを学ぶ授業　活動報告

～被害者にも加害者にもならない社会づくりのために～

犯罪被害に遭われた方への理解を深めるために、ひょうご被害者支援センターは兵庫県警察との共催で県内の中学生・高校生を中心にかけがえのない命について、友達や家族と真剣に考える機会をお届けしています。授業には犯罪被害者ご遺族による講話や、当センター相談員によるデジタル紙芝居と手記の朗読があります。生徒の皆さんから「周りの人をもっと大切にしたい」「毎日悔いなく生きたい」などの感想が寄せられています。

犯罪被害者ご遺族による授業	受　講　生	
神戸市立井吹台中学校	全校生	1,146名
私立神戸星城高等学校	1年生	513名
兵庫県立摩耶兵庫高等学校	1年生	149名
兵庫県警インターンシップ	大学生など	30名
高砂市立鹿島中学校	全学年	409名
大阪経済法科大学	法学部3､4年生	70名
猪名川町立中谷中学校	全校生	143名
神戸市立福田中学校	教員･保護者	120名
私立神戸村野工業高等学校	2年生	450名
神戸市立鈴蘭台中学校	2年生	138名
姫路市少年補導委員会北西部ブロック	少年補導員	40名

センター相談員による授業	受　講　生	
加古川市立浜の宮中学校	3年生	292名
神戸市立横尾中学校	1，2年生	210名
神戸市立筒井台中学校	全校生	275名
	合計受講生	計3,985名

※どの授業にも、兵庫県警より被害者支援の実情のお話を含みます。

◇年度別実施校数・人数

年　度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
校　数	5校	20校	21校	22校	29校	22校	27校	25校	16校	18校	14校
総人数	2,250名	4,600名	6,600名	8,359名	6,920名	5,291名	7,457名	8,521名	5,651名	3,669名	3,985名

合計219校　延べ受講者63,303名

生徒の声

お話を聞いて、加害者がいなくなれば被害者もいなくなるということを世界中の誰もが意識しないといけないことだと思った。（中2・男子）

明日があるとは限らないということを改めて感じたから、毎日を大切に生きようと思ったし、後悔しないように生きようと思った。（高1・女子）

授業風景

神戸市立福田中学校

神戸市立井吹台中学校

神戸市立筒井台中学校

コラム

「人違いって、されたことあります？」

ひょうご被害者支援センター理事　臨床心理士　羽下　大信

皆さん、人違いって、されたことあります？どなたでも、１度や２度はあるでしょうね。僕の場合は、それがどうも、多いんじゃないかなと、密かに思っています。人違いに関する統計なんて、まさかないでしょうから、比較はできないんですが。

ちなみに、この１、２年のことを列挙してみると、①「鳴尾高校の○○先生ですよね？」←夙川、自然食の店、若い女性店員から確信をもって。②大阪、玉江橋。後姿・服装があまりにも似た人が。それとなく前に回ってみたら、全然違ってた！←古くからの女性の友人。③「こないだ、摂津本山の駅の辺を若いカワイイ女性と歩いてたでしょう！（僕：歩いてない！）」←教員をしていた頃の元院生・男性。④「先ほど電車に乗ってましたよね」←ある、ジャズ・ライブハウスの男性客から。その時の僕の服装はド黄色のアロハ。⑤「こないだ、三宮のクラブで、ベースを弾いてませんでした？」←ある心理士、女性。

これ以前にも、エスニック・ショップでは、若い女性から「この服、着てみていいですか？」とにこやかに言われ、「どうぞ」と言ってしまった。中古レコード店や、婦人服売り場通過中にも店員に間違われ、バーではバーテンダーに間違われ・・です。

なぜ、こうなるんでしょう？わからない。思うに、「そこにいても“私は客だ”のオーラがない」「場面や風景の一部になっているものの、他の人と少しズレがある」、「特に個性や主張はなく、“いかにも”の気配も消えている」⇒人から様々な投影を受けやすい、あるいは、その経験を話題にしたくなる人物にみえる、ということかな、と。

そういえば、思い出したことがあります。結婚したばかりの弟の奥さんの実家に行った時のこと。古い大きな家で、薄暗い部屋、朝、僕は鼻をつつかれた。並んで寝ている僕と自分の夫を、彼女が間違えたのだ。彼らは見合いではなかったんですけど。

人違いのすべての出発点はここ!?

私の趣味

センター相談員　K. M. さん

若い頃なら迷いなく読書と答えていただろうが、細かい文字が読み辛くなり布団の中で読みながら寝落ちする至福の瞬間が味わえなくなってからは、ずいぶん遠ざかってしまった。

入れ替わるように始めたのが山歩きである。最初は六甲山地をうろうろしていただけだったが、次第に遠くの高い山にも登るようになった。高い山といっても日帰りでき、ケーブルカーやロープウェイがある所がほとんど。高山植物の可憐な花や雪景色に出会えると心癒される。下山後に入る温泉は極楽である。

インドア派でものぐさ、地道な努力が苦手だった自分が、まさか山歩きを楽しいと思えるようになるとは。自分でも意外だが、のろのろと遅くても歩き続ければ必ずたどり着けるという小さな達成感が大きな喜びとなっているように感じている。

ミュウとの想い出

センター相談員　H. Y. さん

21年前の台風の日、瀕死状態だった子猫（雄）を娘とふたりで助けました。

元気になった子猫は全くなついてくれず、それどころかシャーっと威嚇して噛みつくわ、ひっかくわ…で私たちの手足は毎日傷だらけでした。当時犬も飼っていたので子猫の里親を探そうとしたのですが、こんなにワイルドな気性では誰にも声をかけられず、結局我が家の一員となりました。大人になるにつれ噛んだりひっかいたりはマシになりましたが、撫でられるのを好まず抱っこを嫌うという「猫カフェ」には絶対に就職できない猫でした。

そんなミュウですが特技？がありました。「ミュウ」と呼べば必ず「みゃあ」と返事をし、餌の時には「ミュウご飯は？」と聞くと必ず「ごあ～ん」と言うのです。「みゃあ」とは明らかに違う声で私たち家族には完璧に「ご飯」と聞こえていました。高齢になってから早朝枕元に来ては「ごあ～ん…ごあ～ん、ごはーん！」と起こされるのには困りましたが…。

やがて娘は結婚し母となりました。幼い孫たちは容赦なくミュウを追いかけ撫でまわします。孫たちを傷つけないかと気がかりでしたが、ミュウはいつもじっとされるがままでした。孫たちが帰るや否や「アオ～ンワオ～ン！」と大声で家中を走りまわる姿は「めっちゃ我慢しとったでぇ！」と叫んでいるようでした。

元気だったミュウも昨年8月から目に見えて弱っていきました。10月16日の朝、猫用トイレに体を半分入れたまま倒れていました。一緒に暮らした我が家を今一度見せたくて、抱いてゆっくりと家の中や庭を回りました。あれだけ抱っこを嫌がっていたミュウが私の腕の中でじっとしていました。

翌日の早朝、愛猫ミュウが静かに逝きました。猫の21歳は人間年齢だと100歳になるそうです。

最後までちゃんとトイレへ行ってえらかったなぁ。

孫たちにやさしくしてくれてうれしかったよ。

そして…21年間、いつも私のそばにいてくれて、ありがとうね。

『SDGs（エスディージーズ）』への取り組み

SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な社会のための開発目標）とは、国連が2030年までの解決を目標に掲げ制定した17の目標です。

ゴール5：
ジェンダー平等を
実現しよう

ゴール16：
平和と公正を
すべての人に

ゴール17：
パートナーシップで
目標を達成しよう

私たちはこの3つの課題解決を目指して活動しています。

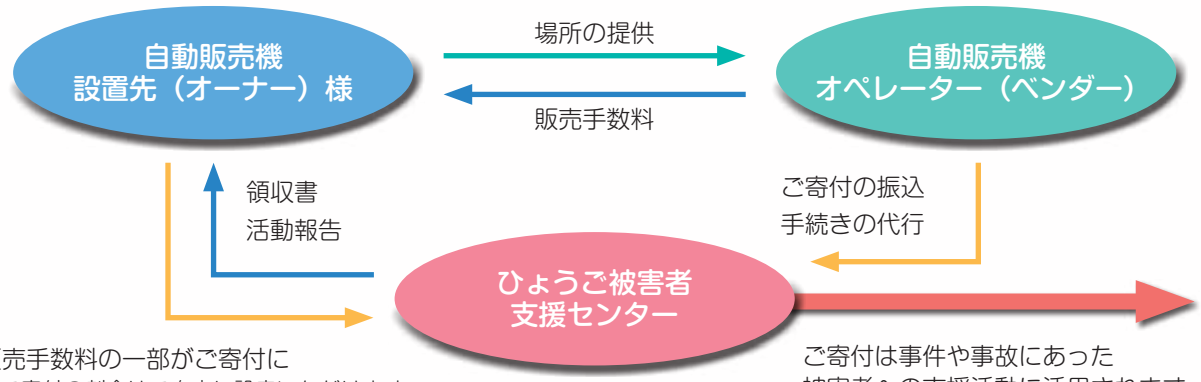
ファンドレイジング

被害者を、地域全体・社会全体で支えるためのご支援・ご協力をお願いしています。

社会貢献型自動販売機設置

ドリンク購入ごとに売り上げの一部がひょうご被害者支援センターへのご寄付になる募金自販機です。

自動販売機設置・寄付の流れ



◆ 2020年3月31日現在のご協力先様（設置先・自販機業者）◆

㈱ あかつき
赤穂自動車教習所
アサヒ飲料 ㈱
アサヒ物産 ㈱
尼崎信用金庫職員生活協同組合
淡路ヤクルト販売 ㈱
淡路ワールドパークONOKORO
㈱ 伊藤園
今垣建材 ㈲
石見サービス ㈱
㈱ 奥村組
金井自動販売 ㈱
㈱ カネカ
中華旬菜 華鳳
㈱ 加美乃素本舗
関西キリンビバレッジサービス ㈱
神戸スタンダード石油 ㈱
神戸星城高等学校
神戸ドライヴィングスクール
神戸西インター自動車学校
神戸日野自動車 ㈱
神戸ヤクルト販売 ㈱
コカ・コーラボトラーズジャパン ㈱
コベルコ教習所 ㈱
㈲ 小山サービス
サントリービバレッジサービス ㈱
飾磨海運㈱
㈱ ジャパンビバレッジウエスト
（社福）正心会 さぎそう園
セキスイハイム山陽 ㈱
㈱ タイガー
ダイドービバレッジサービス ㈱
ダイドーベンディング近畿 ㈱
多木化学 ㈱
㈲ 辻本自動車工業所
長井紙業 ㈱
（特非）西播磨サッカー協会
西脇自動車教習所
日新自動車運送 ㈱
日本製鐵 ㈱
日本装路 ㈱
㈱ ハーモニックス
ハイクラスドリンク ㈱
㈱阪急オアシス
日笠工業 ㈱
（一財）姫路市まちづくり振興機構
兵庫県印刷工業組合
兵庫県警察本部
㈻ 兵庫県自動車学校　西宮本校
㈻ 兵庫県自動車学校　明石校
㈻ 兵庫県自動車学校　姫路校
兵庫県立武道館
兵庫ヤクルト販売 ㈱
平野カーゴ ㈱
福良 ㈲
㈱ 北海
㈱ ホテルニューアワジ
マイスター工房八千代
松原運輸 ㈱
マリン薬局
㈱ マルジュー
武庫川自動車学園
宗像建設 ㈱
ヤスダ産業 ㈱
㈱ ユカ

兵庫県内で80台の
社会貢献型自販機を
設置していただいています
（2020年3月31日現在）。

「金券 de 支援」

ご寄付いただいた金券は、チケットカプリを通して査定額の全額が当センターへ寄付され、犯罪等の被害にあわれた方々への支援活動に役立てられます。是非、タンスの奥や書類棚に入れたままだった金券等で、私たちの支援活動を支えてください。

対象品

商品券（なんでも）・古い切手や葉書・
テレホンカード・図書カード・
旅行券・ビール券・
株主優待券
（飛行機・鉄道・飲食・レジャー・買い物他）

お申込方法

1. 家庭に眠っている チケット・金券・切手等を ご用意下さい。
2. 「贈与承諾書」に 必要事項を ご記入下さい。
3. 「チケットカプリ」に お電話いただき、「金券de支援希望」と お伝えのうえ 贈与承諾書とともに 下記までお送り下さい。

◆「贈与承諾書」は事務局(078-362-7512)にお申し付け下さるか、ひょうご被害者支援センターのホームページからダウンロードしてください。

ひょうご被害者支援センター　検索　https://www.supporthyogo.org/kinken/index.html

申込先

チケットカプリ　☎06-6772-1115　受付時間 10:00～19:00

〒543-0002 大阪市天王寺区上汐３丁目８－25　着払いOK

※お電話なしでお送りいただくことも可能です。

マンスリーサポーター制度

マンスリーサポーターは、毎月定額をクレジットカード決済でご支援いただく継続的なサポーター制度です。寄付金額は、月々1,000円・3,000円・5,000円・10,000円から選ぶことができ、ご自身に適したサポートで被害者支援活動を支えていただくことができます。

お申込方法

Step1 スマホや携帯で QRコードを 読み込み
▶ Step2 毎月の寄付金額や 申込情報を入力
▶ Step3 クレジットカード 情報を入力
▶ 入力内容を確認し マンスリーサポート スタート

申込先

左記QRコードから　または、ホームページへ

ひょうご被害者支援センター　検索

https://congrant.com/project/supporthyogo/1065

「ホンデリング」

～本で支援の輪（リング）が広がってほしい、という願い～

読み終わった不要な本、CD、DVDは、ひょうご被害者支援センターへのご支援につながります。

ホンデリングのお申込方法

1. 読み終わった不要な本、CD、DVDを段ボールや紙袋に詰めます。
2. 「贈与承諾書」にご記入の上、本と一緒に入れます。
3. 買取業者「株式会社バリューブックス」にお電話いただき、「ホンデリングに申し込み希望」とお伝え下さい。

【申込先】

株式会社バリューブックス

電　話　0120-826-295

電話受付時間　月～土 10:00-21:00
日 10:00-17:00

※「贈与承諾書」は事務局(078-362-7512)にお申し付け下さるか、ひょうご被害者支援センターのホームページからダウンロードしてください。

2013年８月以降の累計実績：総冊数 96,731冊、 寄付金額 1,762,743円

団体賛助

尼崎信用金庫 あましん

株式会社伊藤テック

川崎重工業株式会社

KINKI 近畿工業株式会社

一般財団法人 敬愛まちづくり財団 KEIAI MACHIZUKURI FOUNDATION

京阪神興業株式会社

株式会社神戸製鋼所

神戸西ロータリークラブ

sysmex

株式会社親和福祉会

日東物流株式会社 NITTO TOTAL LOGISTICS LTD.

株式会社服部

BANDO

けいしん 兵庫県警察信用組合

兵庫トヨタ

マルナガロジスティクス株式会社

三木市

UCCホールディングス株式会社

株式会社あかつき
赤穂地区警察官友の会
旭建設株式会社
株式会社アシックス
阿比野建設株式会社
株式会社アップル
株式会社尼信経営相談所
尼新実業株式会社
尼信情報システム株式会社
尼信ビジネス･サービス株式会社
尼信ビル株式会社
尼信保証株式会社
尼信リース株式会社
淡路ヤクルト販売株式会社
印南養鶏農業協同組合
岩岡自動車株式会社
岩見印刷株式会社
大阪富士工業株式会社
加古川地区企業防犯協会
株式会社カネミツ
株式会社加美乃素本舗
株式会社カワサキモータースジャパン
川崎油工株式会社
株式会社カワサキ ライフ コーポレーション
カワサキロボットサービス株式会社
川重原動機工事株式会社
川重車両テクノ株式会社
川重商事株式会社
川重テクノロジー株式会社
関西電力株式会社兵庫支社
共栄印刷株式会社
近畿システム管理株式会社
株式会社ケイテック
皇漢堂製薬株式会社
工成建設株式会社
株式会社神戸商工貿易センター
神戸電鉄株式会社
神戸西地区警察官友の会
株式会社神戸凰月堂
神戸みなとサービス株式会社
三宮センター街2丁目商店街振興組合
三宮センター街3丁目商店街振興組合
三田運送株式会社
山陽バス株式会社
飾磨地区警察官友の会
株式会社シマブンコーポレーション
ジャパンオンライン株式会社
神姫バス株式会社
株式会社神鋼環境ソリューション
有限会社新成警備保障
スバル興業株式会社
株式会社スリーエス
株式会社セプレ24
株式会社大栄
宝塚警察署　宝和会
トヨタカローラ姫路株式会社
灘薬剤師会
ニシカワ食品株式会社
株式会社日穀
株式会社ノーリツ
花田神経内科クリニック
株式会社ハマダ
株式会社濱本ジェネラルコーポレーション
日笠工業株式会社
姫路信用金庫
株式会社兵栄
一般社団法人兵庫県指定自動車教習所協会
学校法人兵庫県自動車学校
一般社団法人兵庫県道路標識標示業協会
一般社団法人兵庫県トラック協会
株式会社藤橋商店
ベニックソリューション株式会社
公益財団法人暴力団追放兵庫県民センター
株式会社マルフク
みなと銀行
ヤスダ産業株式会社
有限会社リサーチ兵庫
利昌エンタープライズ株式会社武庫川自動車学園
株式会社ロック･フィールド
六甲バター株式会社
一般財団法人兵庫県交通安全協会
網干交通安全協会
須磨交通安全協会
垂水交通安全協会
加東交通安全協会
兵庫県 警友会
警友会 生田支部
警友会 加古川支部
警友会 加西支部
警友会 神戸水上支部
警友会 神戸西支部
警友会 宍粟支部
警友会 須磨支部
警友会 洲本支部
警友会 高砂支部
警友会 たつの支部
警友会 垂水支部
警友会 長田支部
警友会 西脇支部
警友会 姫路支部
警友会 美方支部
警友会 三木支部
公益社団法人兵庫県防犯協会連合会
網干防犯協会
尼崎北防犯協会
淡路防犯協会
伊丹防犯協会
加東防犯協会
須磨防犯協会
豊岡防犯協会
長田防犯協会
西脇多可防犯協会

ほか匿名

心よりお礼申し上げます

敬称略・順不同

団体寄付

尼信かなめ会

一般財団法人
尼信地域振興財団

うはら工場防犯協会

神戸発 ビルディングと住宅の大栄
株式会社 大栄

NOBUTA GROUP

一般財団法人
兵庫県警察協会

兵遊協福祉基金

青葉台連合自治会
阿比野建設株式会社
有馬交通安全協会
有馬防犯協会
イオンリテール株式会社
出石防犯協会
有限会社おはたま本舗
産科・婦人科　衣笠クリニック
神戸空港タクシー株式会社
神戸市佛教婦人連合会
株式会社神戸新聞社
コベルコ教習所株式会社
芝居小屋　遊楽館
須磨寺
垂水自家用自動車協会
垂水駐車場協会
道場町連合自治会
ドマーニ神戸クリニック
灘区歯科医師会
日清鋼業株式会社
パナソニックエコテクノロジーセンター株式会社
兵庫トヨタ自動車株式会社
養父市役所　市民課
兵庫県警察本部
・監察官室
・機動パトロール隊
・警務課
・交通規制課
・総務課
灘警察署
有馬警察署
甲子園警察署
尼崎南警察署
尼崎東警察署
尼崎北警察署
宝塚警察署
三田警察署
明石警察署
加東警察署
加西警察署
加古川警察署
飾磨警察署
宍粟警察署
養父警察署
豊岡北警察署
ほか匿名

個人賛助

日外充治
芦田敏郎
安保吉孝
李圭燮
石川潤
石津均
岩切幸子
岩本秀孝
伊藤博司
伊藤泰弘
上垣孝俊
靭由美子
大隈義彦
大西小百合
大西道生
大庭絵里
大原雅之
大森和広
（大森クリニック）
岡本冨美夫
荻野喜平
荻野武
奥田敏一
片山宗武
勝せつ子
茅園建新
（陳内科医院）
川市明
河南佳孝
神田アキヨ
北村喜八郎
衣笠謙三
口田久治
久保田康愛
黒田千賀子
後藤貴美子
坂井希千与
坂口真弓
坂本裕香
清水將之
杉本侑弥
曽我洋子
高岡素子
高橋朋子
高橋ひとみ
竹島均
武田博
辰巳光
田中麻衣
田辺町子
谷雅博
谷村敦子
田淵実治郎
（田渕神経科内科診療所）
鄭聖愛
津瀬哲也
徳久正
計倉秀夫
利根康広
豊川輝久
中原拓也
中山剛
永田憲史
夏井良輔
西田真也
西田真之
西部智子
西村靖彦
橋本敏裕
濱田敏夫
廣瀬和孝
福田真寿美
藤井加代子
藤原佳世
船造幸雄
（船造幸雄税理士事務所）
古林祐子
堀本久美子
本間博
松浦一郎
松本幸次郎
丸畑護
三木正夫
溝畑和美
三谷昌子
南裕子
三宅勇気
薮田正美
山形武子
山崎守・育代
山田亮介
山西省三
横野善彦
吉岡なつみ
吉水公一
ほか匿名

個人寄付

日外充治
浅野大子
阿比野剛
有井美智子
安保吉孝
石井敬千
石谷信英
李静子
家木祥孝
生田千津子
生田範三郎
石本誠人
井関勇司
井上敦雄
今井康裕
上野精一
上野成昭
永川晃三
遠藤えりな
大西道生
大野秀章
大橋正勝
大和田攝子
荻野喜平
荻野武
荻野享
奥田敏一
奥見はじめ
（奥見法律事務所）
小澤浩太郎
柿木國夫
釜谷美佳
川崎力夫
河部勝治
木倉輝明
岸本哲也
木下智雄
木村昌代
木元敏彦
口田久治
公門將彰
桑野てるひ
（秋桜）
小久保憲宏
後藤貴美子
小紫由利
（ゆり神経クリニック）
坂本裕香
作田誠司
櫻井繁樹
佐藤広志
白川治
白木敏貴
菅野真由美
杉本侑弥
僧根由利子
高島成光
髙宮静男
（たかみやこころのクリニック）
竹内資郎
立花二三江
龍山智美
田中英樹
田辺町子
谷村敦子
全美玉
寺崎正俊
計倉秀夫
冨永良喜
富村利之
豊川輝久
内藤憲一
中井久夫
中山幸平
（中山神経内科）
奈良克志
南城久代
西田芳則
西部智子
野澤太一郎
橋本博之
長谷川きみ子
波多腰正隆
花木三千子
浜西美津子
兵頭英出夫
藤井加代子
藤井保男
藤田裕之
保坂美加
堀口節子
本多修
増田章吾
（増田内科医院）
松井律子
（まつい心療クリニック）
松浦一郎
松岡謙二
三木千鶴子
三木英明
溝畑和美
南裕子
宮下美香
村上典子
村上正章
本山恵美
薮田正美
山内千恵子
山崎守
山田剛
山田敏晴
山田亮介
山西省三
横野善彦
吉見健蔵
若林稔
若本修一
渡邊憲治
和田敦裕
ほか匿名

2019年４月１日～2020年３月

感 謝

ご寄付をいただきました

一般財団法人尼信地域振興財団様は社会貢献活動を通じ、長年にわたり地域のコミュニティ活動や文化事業など幅広い活動を支え、地域社会の振興発展づくりに尽力されています。

写真左から
尼崎信用金庫　橋本会長　　センター　井関理事長
尼崎信用金庫　作田理事長

尼信かなめ会様は尼崎信用金庫様のお取引先を中心とした組織で、会員相互の親睦と事業の発展及び地域社会への貢献に寄与することを目的にしておられます。

写真左から
尼崎信用金庫　作田理事長　　尼信かなめ会　大島会長
センター　井関理事長　　尼崎信用金庫　橋本会長

兵遊協福祉基金様は　人と人との絆をより強くし、良い社会づくりを進めることを目的に、幅広く社会貢献活動を展開されています。

写真左　兵庫県遊技業協同組合　甚田専務理事
写真右　センター　寺崎副理事長

延田グループ様は、幸せで希望に満ちた明るい社会づくりのため、地域との調和に努め、幅広く、社会貢献活動を展開されています。

写真右　株式会社 延田エンタープライズ　桜井執行役員
写真左　センター　遠藤事務局長

株式会社大栄様は阪神間を中心として“グランディア”ブランドでの住居・商業ビルなどの賃貸事業等、総合不動産業を営み、設立以来40年、会社経営理念の基、地域社会への奉仕活動に積極的に取り組んでおられます。

写真左　株式会社 大栄　生島社長
写真右　センター　井関理事長

正味財産増減計算書　(2019年度：2019年4月1日～2020年3月31日)

収　　入

(単位：円)

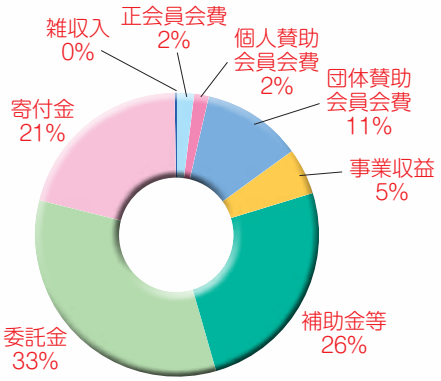
勘定科目	2018年度	2019年度	前年度比
正会員受取会費	685,000	685,000	0
個人賛助会員受取会費	507,000	516,000	9,000
団体賛助会員受取会費	3,310,000	3,650,000	340,000
事業収益	2,074,970	1,687,630	-387,340
受取補助金等	9,104,290	8,209,696	-894,594
受取委託金	10,358,568	10,767,943	409,375
受取寄付金	6,414,416	6,711,303	296,887
雑収入	7,828	7,822	-6
小　　計	32,462,072	32,235,394	-226,678
正味財産期首残高	18,600,983	18,290,141	-310,842
合　　計	51,063,055	50,525,535	-537,520

支　　出

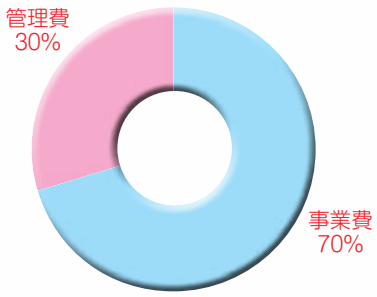
(単位：円)

勘定科目	2018年度	2019年度	前年度比
事業費	24,087,663	20,851,760	-3,235,903
管理費	8,685,251	8,775,823	90,572
小　　計	32,772,914	29,627,583	-3,145,331
正味財産期末残	18,290,141	20,897,952	2,607,811
合　　計	51,063,055	50,525,535	-537,520

収 入



支 出



◎2019年度の概要説明

収入は前年度に比べて、事業収入（講演・研修事業）で39万円、日本財団（預保納付金）助成金が88万円減少しましたが、委託金40万円、団体賛助・寄付金が65万円増加し、収入合計では23万円の減少にとどまりました。

支出は前年度に比べて、事業費が支援活動の減少により324万円減少しました。

管理費は横ばいの推移でした。その結果、収支では261万円の黒字となりました。

◎2020年度の課題

日本財団の預保納付金による助成金収入は2019年度730万円の実績に対し、2020年度は118万円と大幅な減少となりました。さらに2021年度には助成終了の予定です。十分な支援活動を継続するためには、自主財源の強化が課題となっています。

身近にできる社会貢献活動

ポスター掲示

県民の皆様に、センターのことを知っていただくため、ポスター掲示にご協力お願いします。例えば町内の掲示板や公共の建物、ご自宅の外壁等で、団体・個人を問いません。
サイズをご確認の上、事務局へ連絡いただければ送付いたします。

ポスターサイズ（単位mm）
大＝A2版（縦594×横420）
中＝B3版（縦515×横364）
小＝A4版（縦297×横210）

「よりそい」のポスターは中・小サイズのみの扱いとなります。

金券de支援　～金券のご寄付が被害者支援活動に～

商品券、古い記念切手や葉書、テレカ、図書カード、旅行券、ビール券、株主優待券（飛行機·鉄道·飲食·レジャー·買い物）などの金券のご寄付をお願いします。（本紙P11に掲載）

ホンデリング

～本で支援の輪（リング）が広がってほしいという願い～

読み終わった不用な本、CD、DVDのご寄付をお願いします。（本紙P11に掲載）

クリック募金

ひょうご被害者支援センターのホームページにバナー広告を掲載いただき、バナーへのクリック数に応じてご寄付をいただいています。

ふるさと納税によりセンターの活動を支援する

犯罪被害者支援が「ふるさとひょうご寄附金」の対象になりました。「ふるさと納税」でのご支援もよろしくお願いいたします。
お問い合わせはひょうご被害者支援センター事務局まで
電話　078-362-7512

マンスリーサポーター

～毎月定額をクレジットカード決済でご支援いただく継続的なサポーター制度です～

（本紙P11に掲載）

社会貢献型自動販売機

清涼飲料の売上の一部が社会貢献活動への寄付になる自動販売機です。地域住民や社員・職員など誰もが使う機会のある身近な自動販売機で社会貢献に取り組むことができます。（本紙P10に掲載）

募金箱の設置

募金箱の設置をしていただけるお店や企業のご協力をお願いしています。

遺贈寄付

私の遺産、父母の遺産の一部を犯罪被害者やそのご家族の支援活動に活かしたい。
そんなあなたの想いを、ひょうご被害者支援センター事務局にお気軽にご相談ください。

◎ 賛助金、寄付金のお支払いにクレジットカードがご利用できます

賛助金、寄付金は付き添いや支援員の育成費用など、被害に遭われた方やそのご家族・ご遺族をサポートしていくための事業に活用しています

賛助会員（年会費）	個人　一口　1,000円（何口でも可）	銀行口座へのお振込みや、クレジットカードでのお支払は、ホームページ【ひょうご被害者】🔍検索 より手続きをお願いします。
	団体　一口　10,000円（何口でも可）	
寄 付 金	寄付金はいくらからでも結構です	

●賛助会費・寄付金は所得控除、税額控除の対象になります。

公益社団法人 ひょうご被害者支援センター電話相談　祝日·8/12～16·12/28～1/4は除く

犯罪被害全般
☎078-367-7833（なやみみんなで）
火·水·金·土　午前10時～午後4時

性暴力被害専用 ひょうご性被害ケアセンターよりそい
☎078-367-7874（なやみなし）
月·火·水·金·土　午前10時～午後4時
「よりそい」はワンストップ支援センターです

発行日：2020年6月
発行者：公益社団法人
ひょうご被害者支援センター
事務局：TEL 078-362-7512
ＵＲＬ：https://supporthyogo.org

編集後記

編集にあたり、私たちの活動をわかりやすくお伝えすること。活動を応援して頂いている皆さまへの感謝の気持ちをお伝えすること。役員や相談員の人柄をお伝えすること。この3点に気持ちを込めて編集いたしました。NewsLetter34号を通じ被害者支援の輪が広がることを願っています。